

<問い合わせ状況 2022年3月>



📄 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。3月の疑義照会は11件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認 (2件)
- 日数変更 (2件)
- その他 (7件)
 - ・1包化指示あるが、PTP希望
 - ・インデラル屯用処方。他院にてアロチノロール処方あり

など

📄 薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
3月は質問がありませんでした。



📄 薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。3月は記録したもので12件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎がかったものについては回答をDIニュース No. 445 に記載しています。

◎大建中湯の味について

- ラゲブリオ[®]は脱カプセル可能か?
- ラゲブリオ[®]を溶解する場合、どのくらいの水量が必要か?
- ゼビュディ[®]が血管外漏出した場合の対応は?
- ゼビュディ[®]は皮下投与できるか?
- パキロビッド[®]を減量して服用開始した後、腎機能が回復したら増量するのか?
- 麻薬を経口投与しているが服用できなくなった。代替はどうすれば良いか?

◎ダーブロック[®]からエベレンゾ[®]への変更方法は?

◎カリウムの投与量が1日100mEqまでとなっている理由は?

- バンコマイシンとソル・コーテフ[®]とを混合したらフィルターが白濁することがあるか?

◎歯肉退縮する薬があるか?

- 長期投与できる睡眠薬は?

